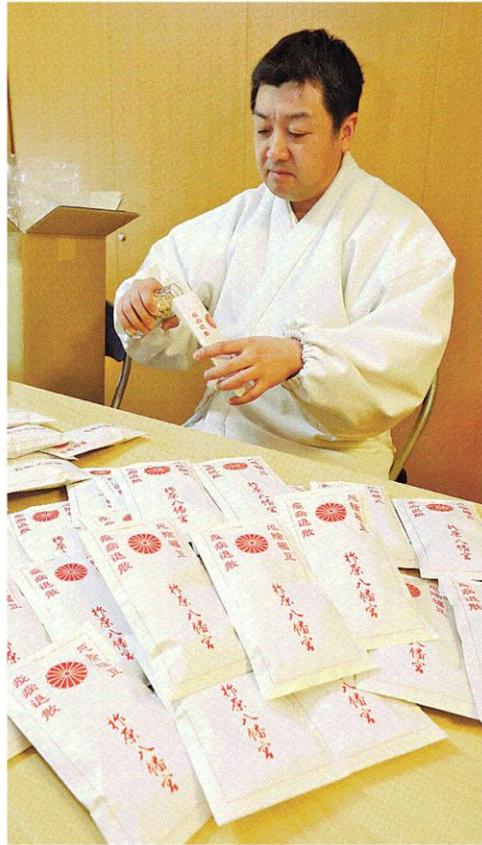




え？節分今年は2月2日

節分用の豆を袋に詰める神職
＝27日、大分市上八幡の杵原
八幡宮、撮影・首藤洋平



今年の節分は2月2日。「立春」の前日に当たり、地球の公転周期のずれに伴って通常より1日早くなった。4年前の2021年も2月2日が節分で、今後30年ほどは同様のケースが4年に1度巡ってくる。県内で節分の準備が進む中、いつもと違う日付に戸惑いの声も聞かれた。

国立天文台によると、立春を含む「二十四節季」の日付は、地球が太陽の周りを1周する公転時に通る軌道を24等分し、そこを何月何日に通過するかで決まる。今年はずり3日に「立春」点を通過するため、立春前日の節分は2日になった。大分市上八幡の杵原八幡宮は、節分の豆まきに使う「福豆」の準備が進む。神職が願いを込めて袋に豆を入れ、お清めをしている。約350袋を用意し、2月1日から参拝客に配る。禰宜の長沢周一郎さん(47)は「豆には『魔を滅する』という意味が込められている。悪いものを追い払

い、いい年を過ごしてほしい」と述べた。竹田市竹田町で和食料理店「和創作えん」を営む相馬康弘さん(44)は、2日が節分と知りびつくり。例年通り3日に恵方巻き作りに専念するつもりだった。4年前も間違え、そのことを知っていた知人から今月中

公転周期のずれ 3日に「立春」 今後30年「4年に1度」

旬に教えられた。店のスタッフも気付けておらず「みんな驚いていた」。2日は既に来店予約が入っていたため、夜はいつも通り営業することに。当初見積もっていた50本から30本に減らして作ることにした。「2日は恵方巻き作りも接客も心を込めて全力を尽くす。食事を通してお客様さまに幸せを届けたい」と話した。

節分は「季節を分ける」ことを意味し、年間では立春、立夏、立秋、立冬のそれぞれ前日に相当。特に立春前の節分が重んじられている。2月3日が多く、2日や4日になることもある。2021年は124年ぶりに2日だった。4日の節分は最も近い年で1984年であった。(牧里保子)

×
円

節分の日付のずれは、4年ごとの「うるう年」と関係がある。今後の予測では、2月2日の節分は2057年までうるう年の翌年に来る。57年以降は4年に2度、89年以降は4年に3度になる。2100年はうるう年にならない特別の年で公転周期のずれが解消され、その後は2月3日の節分が多くなる。



〔問①〕 今年の節分 2月2日ですが、その理由を答えましょう。

〔問②〕 今後 30年間で、節分の日が 1日早くなるのは何年に 1度巡ってきますか。

〔問③〕 節分の豆まきに使う豆には、どんな意味が込められていますか？

〔問④〕 日本の四季を祝う行事でほかにどんなものがありますか。また、あなたの好きな行事は何ですか。理由も教えてください。